

償還督促および訪問催告を促しているが、その状況は。

**答** 肉牛価格の低迷や粗飼料の高騰により、回収は厳しい状況。子返し制度は7頭で、残り20頭は現金で債権回収になる。

**問** 今後の回収見通しは。

**答** 連帯保証人や分納方法、契約条項等の見直しや返済計画書を作成し、債権管理委員会でも再度検討をしながら回収を進めていく。

### 宮守わさびバイオテク ノロジー公社について

**問** わさびバイオテクノロジーへの補助金は、何故商工振興費なのか。

**答** わさびのクローン苗を生産するという行為は、加工品生産という産業振興であると捉えたためである。補助金が全て人件費という訳ではな

い。宮守のわさび生産は、大正時代からで、以来、栽培技術を習得しながら現在に至っている。公社が発足してからクローン苗を販売してきた。クローン苗は病気に強く、県内外からの需要もあり、今後売り上げ増が期待できる。進化まちづくり検証委員会の検証意見をもとに経営改革も進めて行きたい。



### 市水道の 今後について

**問** 配水量、有収水量及び有収率の推移を見ると、特に18年度からの落ち込みが大きいように見受けられる。また、有収率は本来回復するはずだが、そうなっていない。ということとは、将来大規模な設備投資等が必要であるということか。

**答** 有収率が落ちる原因は漏水であるが、今後計画的に布設替えをしなければならぬ時期が到来していることを意味している。本来は前倒しするくらいの布設替え工事を行う必要があるが、収支のバランスをみながら慎重に事業を進め、市民の水を確保していきたい。

### 民生児童委員の 後任について

**問** 今年は民生委員の任期であり各地区で後任の民生委員の選出に苦労さ

れた、或いはまだ後任が決まっていない地区もあると聞くが原因についてどう考えるか。

**答** 1、2箇所決まっていない地区があり、原因については、そこに関して言えば地区が広いとか、地区全体の高齢化が進んでいて自信がないとか、車の免許がない等の理由である。

**問** やむを得ず引き受けた方もあると聞くが今後の対策についてどうするか。

**答** 行政区単位、自治会単位で地域の福祉力を高めて、民生委員への負担の軽減を図っていく。

### 学校給食費の 食材調達について

**問** 学校給食食材に占める地場産物使用割合が、計画値35%に対し実績値48%となっている、主に何を使用しているのか。



**答** 地元産直を中心に入れた野菜のみの数値で、その他に米や味噌も地元産を100%使用している、それらも含めると重量ベースで約70%近くの地場産物使用割合となる。

**問** 地元の産直を利用することは良いと思うが、食材の価格が高くなる心配もあるがどうか。

**答** 青果物商業組合と産直から見積りをとってから購入しているが、今のところ地元産が高くなつたことはない。